

生活困窮者の自立支援

生活困窮者が増加する中、最後のセーフティネットである生活保護に至る前の支援が重視されています。本研修では、アウトリーチ型支援をはじめとするさまざまな支援事業の事例から、生活困窮者を支える体制整備の進め方や効果的な事業の実施方法などを学び、地域の特性や事情を踏まえた具体的な支援のあり方について考えることにより、自立支援に必要な施策の企画立案・実施能力の向上を図ります。

研修のポイント

- 「生活困窮者自立支援法」の概要や今後の動向について学びます。
- 対象者の特性に合わせた支援のひとつとして、発達障がい児・者の支援のあり方について学びます。
- 支援事業の事例紹介を通して、相談から自立に至るまでの支援を切れ目なく包括的に提供するための施策や実施について考えます。

開催要領

日 程

令和3年2月1日(月)～2月3日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 生活困窮者支援に関わる市区町村・都道府県の職員
- 社会福祉協議会の職員及び行政と協働実績のあるNPO法人団体等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員等を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会議務局を通じてお申し込みください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年12月11日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込が難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会議務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りしますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

2月
1日(月)

11:00~ 入寮受付・昼食

12:30~ 開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 生活困窮者自立支援制度と包括的な支援体制の構築

厚生労働省社会・援護局地域福祉課

生活困窮者自立支援制度について、制定された背景や意義、社会福祉法改正による包括的な支援体制の整備における位置づけなど、制度動向のポイントなどについて学びます。

14:25~17:00

講義・事例紹介 アウトリーチによる生活困窮者支援

認定特定非営利活動法人抱樸 理事長 奥田 知志 氏

アウトリーチでの支援が必要とされる社会的背景を踏まえ、これからの支援が目指すべき方向性や課題について、生活困窮者に寄り添った手法から学びます。

17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

事例紹介 家計相談(改善)支援事業

グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事 生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
家計を立て直すための支援方法や横断的な支援のあり方についてお話しいただくとともに、家計相談に至る背景についても理解を深めます。

10:50~12:00

講義 発達障がい児・者の特性と支援のあり方

滋賀県立精神保健福祉センター 所長 辻本 哲士 氏

発達障害児・者の特性を理解し、学習や就労等の支援をどのように展開していくのかについてご講義いただきます。

13:00~14:10

事例紹介 子どもの学習・生活支援事業

千葉県八千代市健康福祉部健康福祉課福祉総合相談室 主査補 長谷川 淳一 氏
生活困窮者自立支援法施行前の平成21年度から、教科の「学習」のみならず、調理体験・歯磨き指導・子ども食堂と連携して行ったデイキャンプ等、子どもの「生活力」「社会性」の向上を目指した取り組みを行っている八千代市の事例についてご紹介いただきます。

14:25~15:35

事例紹介 共生と就労準備・社会参加・中間的就労

一般社団法人釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏

就労準備事業による社会参加を通じて地域の力になるコミュニティー就労を考え、その第一歩である多様な社会資源の開発やつながりづくりについての理解を深めます。

15:50~17:00

事例紹介 一時生活支援事業

特定非営利活動法人POPOLO 事務局長 鈴木 和樹 氏

特定非営利活動法人POPOLOでは役所内に食品の寄贈を受けるボックスを設置するなど行政との緊密な連携を行い、生活困窮者への一時生活支援を横断的に取り組んでいます。そのような一時生活支援事業の取組について、これまでの成果や今後の課題等をご紹介します。

9:25~14:10

演習・ふりかえり 生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために

九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏

研修全体をふりかえるとともに、受講者同士で各自自治体の取組や課題を共有し合い、様々な主体との連携などによる効果的な事業の実施方法について考えます。

14:10~14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和3年

2月
3日(水)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。